

| 観 点 | 教科書の特徴 |
|--|--|
| <p>1 教育基本法への対応</p> <p>(1) 幅広い知識と教養を身につけ、健やかな体を養う</p> <p>(2) 自主自立の精神や勤労を重んずる態度を養う</p> <p>(3) 自他の敬愛と協力を重んじ、社会へ参画する</p> <p>(4) 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する</p> <p>(5) 伝統と文化を尊重し、国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●健康管理上重要な姿勢・執筆法を重視し、写真や原寸大の図版などを用いて丁寧に解説している。 ●卒業時に必要となる書式について触れることで、中学卒業後の進路などについて意識させ、自立を促せるよう配慮している。 ●職場訪問や防災訓練など、学校外の地域の人々と関わる活動を取り入れ、地域社会に主体的に関わる姿について考えられるよう配慮している。 ●各都道府県で見ることのできる文字や、用具や用紙の作り方など、郷土や伝統文化に触れられるよう配慮している。 ●国語の古典や名文を数多く教材化していることに加え、旧暦の月名や二十四節気なども小筆の文字で掲載し、日本語の美しさを味わえるようにしている。 |
| 具体例 | <ul style="list-style-type: none"> ●生徒の健康管理上重要な姿勢・執筆法を重視し、正しい姿勢や筆記具の持ち方を提示すると同時に、姿勢が悪いことによる弊害を話し合わせる教材構成としている。【p.4-6】 ●志願理由書や入学願書など、卒業を控えた中学3年に必要とされる題材を具体的に示し、教材を通して卒業や自立への心構えができるようにしている。【p.96-97】 ●学校と地域が協力して防災訓練を運営する活動例を示すなど、公共の精神に基づいた地域との関わりを示している。【p.72-78】 ●保育園に職場訪問し、そこで働く人々の姿を知ることから、勤労について考え、また、幼い子どもたちへの慈しみを養うきっかけを作っている。【p.42-45】 ●身近にある石碑などの文字を、全都道府県分掲載し、郷土やほかの地域への興味・関心を喚起させるようにしている。【p.84-85】 ●年賀状やいろは歌、旧暦の月名、二十四節気などを掲載し、日本の伝統と文化について理解できるようにしている。【p.37,58,巻末折り込み など】 |
| <p>2 学習指導要領との関連</p> <p>(1) 指導事項の取り扱い</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●各学年の指導事項を、生徒が主体的に学習できるよう工夫している。 ●毛筆の学習が硬筆の基礎を養うよう配慮している。 ●文字文化に対する興味・関心や書写学習への関心・意欲が高まるような教材・資料を設定している。 ●小学校書写との関連や、高等学校書道へのつながりが分かる構成にしている。 |
| 具体例 | <ul style="list-style-type: none"> ●基礎・基本となる教材を中心に構成し、目標や振り返りを明示しているので、生徒が見通しをもって学習できるようにしている。【p.8-13 など】 ●毛筆教材と同じ文字や関連した文字・語句を硬筆で掲げ、毛筆の学習を硬筆に広げられる構成にしている。【p.34-35 など】 ●身の回りの多様な文字や、文字文化に関する写真やコラムを多数用意している。【p.25,40-41,82-83,84-85 など】 ●1年の導入時期では、小学校での学習の確認として姿勢・執筆法や楷書の基礎を配し、中学校の学習に無理なく進めるよう配慮している。巻末の資料ページでは、漢字の成り立ちや発展的な学習で日本及び中国の古典を取り上げ、高等学校芸術科書道への接続にも配慮している。【p.4-6,104-105,106-107 など】 |
| <p>3 組織・配列</p> <p>(1) 基礎・基本の指導の系統性</p> <p>(2) 硬筆・毛筆の関連指導への配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●点画・筆使い、字形の整え方、配列、書式などの指導事項を系統的・組織的に配列している。 ●基礎的・基本的な指導事項を発展的に積み上げ、技能の習熟が図れる構成にしている。 ●硬筆教材と毛筆教材の関連を明確にし、硬筆・毛筆の関連指導に配慮している。 |
| 具体例 | <ul style="list-style-type: none"> ●楷書・行書・仮名について、点画・筆使い、字形の整え方、配列、書式などの基礎的・基本的な事項を過不足なく、段階的に指導できるように構成している。 ●教材を「練習」「生活に広げよう」「資料」の3つに分け、系統的・発展的な学習ができるよう工夫している。 練習：学習の中心となる教材で、「練習」だけでも基礎・基本の徹底が図れる。【p.8-13 など】 生活に広げよう：「練習」で習得した知識・技能を応用して、日常生活や社会生活に生かせるよう配慮した教材にしている。また、学年の最後に「生活を豊かにする文字」として、ストーリーに沿った教材を設定している。【p.42-45 など】 資料：書写に対する興味・関心を深められるコラム「しょしゃのたね」や豆知識「しょしゃのつば」、巻末資料編などを設け、自学自習にも役立てられるようにしている。【p.12-13,21,100-101 など】 ●書き込み欄を増やし、毛筆で確認した学習内容を、硬筆に広げられるようにしている。【p.34-35 など】 |

| 観 点 | 教科書の特徴 |
|--|---|
| <p>4 範囲・程度</p> <p>(1) 発達段階への適応</p> <p>(2) 硬筆および毛筆教材の適性</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●基礎・基本の学習にふさわしい教材を、生徒の発達段階に応じて設定している。 ●硬筆および毛筆教材は、中学生が学習するのに適切な字形や筆使い、書風である。 |
| 具体例 | <ul style="list-style-type: none"> ●学習の実際を考慮し、書体別に教材を配置するとともに、技能の向上を確かなものにするため、マークを使い参照ページを示すなど、反復学習が容易にできるよう配慮している。 ●教材文字は、硬筆・毛筆ともに中正穏健な書風を追求している。筆使いが簡明で理解しやすく、字形が整っていて学びやすい。また、健康的で明るい書風の文字である。 |
| <p>5 教育課程と今日的課題への対応</p> <p>(1) 基礎・基本の習得</p> <p>(2) 言語活動の充実</p> <p>(3) 他教科の学習や日常生活への活用</p> <p>(4) 防災・安全教育の推進</p> <p>(5) 道徳教育との関連</p> <p>(6) 伝統的な言語文化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●理解→練習→定着の学習の流れを具体的に示し、生徒の主体的・協働的な学び（アクティブ・ラーニング）ができるよう工夫している。 ●「話すこと・聞くこと」や「書くこと」に関わる言語活動例を取り上げている。 ●書写で学習したことを他教科の学習や日常生活に生かす視点を随所に取り入れ、これからの時代に必要とされる資質・能力を養えるようにしている。 ●「防災訓練」を題材にし、地域との協力や防災に関心を高められるよう工夫している。 ●毛筆や硬筆の題材などを通して、思いやりの心を育めるようにしている。 ●伝統的な言語文化に関する題材を、教材や資料として取り扱っている。 |
| 具体例 | <ul style="list-style-type: none"> ●書き方のポイントや、楷書や行書のまとめなど、基礎・基本で必要とされる事項を具体的に示すことで、学習の見通しをもって技能が習得できるよう配慮している。【p.16,22-25,52-55 など】 ●ノートや絵はがき、ポスターなど具体的な例を教材として、目的や必要に応じて書いた文字の効果について考え、話し合えるようにしている。【p.86-87,88-89,90-91 など】 ●「生活に広げよう」では、国語の「書く」領域との連携を図り、新聞や手紙など、言語活動と関連する教材を積極的に取り上げ、学んだことを生活に生かす力が身につくよう配慮している。【p.26-27,37-39,42-45 など】 ●「防災訓練」を扱った教材では、地域の防災意識を高めると同時に、地域社会への貢献について考えられるようにしている。【p.72-78】 ●お礼状など、書く題材を通して、相手を思いやる心を養うよう配慮している。【p.45,77 など】 ●国語と関連する古典教材や名文、年賀状、手紙の書き方、季節の挨拶、旧暦の月名、二十四節気など、伝統的な言語文化に関する題材を載せている。【p.37,46,58,80,98,巻末折り込み など】 |
| <p>6 表記・表現</p> <p>(1) 文章表現</p> <p>(2) 特別支援教育への配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●簡潔で分かりやすい文・文章で表現している。 ●カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。 ●拡大教科書を発行する。 |
| 具体例 | <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の研究者に校閲を依頼し、特別支援教育の観点から内容や表記の検証を行っている。 ●色覚特性の研究者に校閲を依頼し、全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている。 ●弱視の生徒の学習のために、教科書と同じ内容の拡大教科書を発行する。 |
| <p>7 印刷・造本</p> <p>(1) 印刷、製本、材料、判型</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●堅牢で、長期使用に耐えられる製本にしている。 ●学習に適切な用紙を使い、かつ環境にも配慮している。 ●国語・書写の学習に適した活字や図版を使用している。 ●教科書の判型を大きくしている。 |
| 具体例 | <ul style="list-style-type: none"> ●製本は、半紙原寸大の教材を掲載できるように、大きく開くことができ、かつ堅牢なものにしている。 ●再生紙・植物油インキを使用しており、環境に対する配慮をしている。 ●書き文字の筆使い・字形に準拠し、国語・書写の学習に適した活字（教育用明朝体）を使用している。 ●硬筆文字や毛筆の解説写真は、濃度に気を配り、見やすいものになっている。 ●教科書の判型を幅の広いAB判とし、資料を充実させるとともに書き込み欄を増やすことで、生徒自身が学習の成果を確かめられるようにしている。【p.19,22-25,31 など】 ●毛筆教材は、半紙の縦横比率に合わせた縮尺で掲載し、文字の配列を確かめやすくしている。【p.35,49,51,62 など】 |

| 単元・教材 | ページ | 時数 | 用具 | 題材 |
|-----------------------------|-----|----|-------|------------------------------|
| これから学ぶこと | 2 | | | |
| 姿勢・筆記具の持ち方* | 4 | 1 | 硬筆 毛筆 | |
| 一 楷書 | | | | |
| 1 点画の書き方と字形 | 8 | 2 | 硬筆 毛筆 | 大志 , 新風 |
| ●しよしゃのつぼ：楷書の基本点画 | 12 | | | |
| 2 楷書に調和する仮名 | 14 | 2 | 硬筆 毛筆 | 五十音（平仮名，片仮名） |
| 3 配列 | 16 | 2 | 硬筆 毛筆 | 「夏山の緑うつりし小窓かな」 美しい緑 |
| ●しよしゃのつぼ：「書きやすさ」のために | 18 | | | |
| 4 配列 | 19 | 1 | 硬筆 | 「さんちぎ」，横書き |
| [◆しよしゃのたね] 手書き文字と印刷文字の違い | 21 | 適宜 | 硬筆 | |
| [◆学習に生かそう] 楷書のまとめ | 22 | 適宜 | 硬筆 | |
| [◆しよしゃのたね] 楷の木 | 25 | 適宜 | | |
| [◆生活に広げよう] 目標を書こう | 26 | 1 | 硬筆 | 夏休みや新学期の目標，班ポスター |
| ●しよしゃのつぼ：字間と行間 | 27 | | | |
| 二 行書 | | | | |
| 1 行書の基本的な書き方 | 28 | 3 | 硬筆 毛筆 | 大洋 |
| ●しよしゃのつぼ：読みやすく整った文字を速く書くために | 28 | | | |
| 2 点画の連続と省略 | 34 | 2 | 硬筆 毛筆 | 和音 |
| [◆学習に生かそう] 毛筆で書こう | 36 | 適宜 | 毛筆 | 探究，伝統の技，永遠，花鳥風月 |
| [◆生活に広げよう] 年賀状を書こう | 37 | 1 | 硬筆 毛筆 | 年賀状，都道府県名，名前の書き方，往復はがき |
| ●しよしゃのつぼ：はがきを出す時期 | 38 | | | |
| ●しよしゃのつぼ：往復はがき | 39 | | | |
| [◆しよしゃのたね] 用具・用紙のできるまで | 40 | 適宜 | | |
| 三 生活を豊かにする文字 | | | | |
| ●職場訪問をしよう | 42 | 2 | 硬筆 | 縦書き封筒，依頼の手紙，メモ，新聞，原稿用紙，お礼の手紙 |
| ●しよしゃのつぼ：手紙で使う用語 | 43 | | | |
| ●しよしゃのつぼ：受け取る人のために | 45 | | | |
| [◆書いて味わおう] 竹取物語 | 46 | 1 | 硬筆 | 「竹取物語」 |
| [◆生活に広げよう] 書き初めをしよう | 折込 | 2 | 毛筆 | 夢の実現，温故知新 |
| ●しよしゃのつぼ：書き初め | 折込 | | | |
| 一 行書 | | | | |
| 1 形や方向の変化 | 48 | 2 | 硬筆 毛筆 | 詩集 |
| 2 点画の連続と筆順の変化 | 50 | 2 | 硬筆 毛筆 | 国際社会 |
| [◆学習に生かそう] 行書のまとめ | 52 | 適宜 | 硬筆 | |
| 二 行書と仮名 | | | | |
| 1 行書に調和する仮名 | 56 | 2 | 硬筆 毛筆 | 五十音（平仮名，片仮名） |
| [◆しよしゃのたね] 平仮名の始まりというは歌 | 58 | 適宜 | 毛筆 | いろは歌 |
| 2 行書と仮名の調和 | 59 | 2 | 硬筆 毛筆 | 流れる雲 豊かな自然 |

| 単元・教材 | ページ | 時数 | 用具 | 題材 |
|------------------------|-----|----|-------|--|
| 3 配列 | 63 | 1 | 硬筆 | 「枕草子」 |
| [◆生活に広げよう] 好きな言葉を書こう | 64 | 1 | 硬筆 毛筆 | 色紙，短冊，半紙 |
| [◆しよしゃのたね] 俳句や短歌を書くとき | 67 | 適宜 | 毛筆 | |
| 三 楷書と行書 | | | | |
| 1 楷書と行書の使い分け | 68 | 1 | 硬筆 | |
| 2 配列 | 70 | 2 | 硬筆 毛筆 | 「走れメロス」，掲示物 |
| ●しよしゃのつぼ：太いフェルトペンの使い方 | 71 | | | |
| 四 生活を豊かにする文字 | | | | |
| ●防災訓練に参加しよう | 72 | 4 | 硬筆 毛筆 | メモ，計画書，ファクシミリ送付票，ポスター，看板，防災マップ，防災のしおり，案内表示，レポート，荷物の送り状，お礼の手紙，横書き封筒 |
| ●しよしゃのつぼ：荷物の送り状 | 76 | | | |
| ●しよしゃのつぼ：手紙の基本的な書き方 | 78 | | | |
| ●しよしゃのつぼ：時候の挨拶（歳時記の季節） | 78 | | | |
| [◆しよしゃのたね] のしとのし袋 | 79 | 適宜 | 硬筆 毛筆 | のし袋 |
| [◆書いて味わおう] 平家物語 | 80 | 1 | 硬筆 | 「平家物語」 |
| [◆生活に広げよう] 書き初めをしよう | 折込 | 2 | 毛筆 | 感謝する心，信念を貫く |
| ●しよしゃのつぼ：書き初め | 折込 | | | |
| 一 身近にある文字を調べよう | | | | |
| 1 多様な文字 | 82 | 1 | 硬筆 毛筆 | |
| [◆しよしゃのたね] 身の回りの文字を探そう | 84 | 適宜 | | |
| 二 効果的に書こう | | | | |
| 1 ノートに書くときに・記録 | 86 | 1 | 硬筆 | ノート |
| 2 絵はがきや電子メールを出すときに・伝達 | 88 | 1 | 硬筆 | 絵はがき，電子メール |
| 3 ポスターを作るときに・表現 | 90 | 2 | 硬筆 毛筆 | ポスター |
| ●しよしゃのつぼ：表現したいことに合わせて | 91 | | | |
| 三 生活を豊かにする文字 | | | | |
| ●文化祭や卒業に向けて | 92 | 2 | 硬筆 毛筆 | 栄光のかけ橋，色紙，ブックカバー，志願理由書，入学願書 |
| ●しよしゃのつぼ：どうして読みにくい？ | 97 | | | |
| [◆書いて味わおう] おくのほそ道 | 98 | 1 | 硬筆 | 「おくのほそ道」 |
| [◆生活に広げよう] 書き初めをしよう | 折込 | 2 | 毛筆 | 希望に輝く春，生命を尊ぶ |
| ●しよしゃのつぼ：書き初め | 折込 | | | |
| [◆資料1] いろいろな書式 | 100 | | 硬筆 | はがき，原稿用紙，新聞，ポスターセッション用の資料 |
| [◆資料2] 書写テストに挑戦 | 102 | | 硬筆 毛筆 | |
| [◆資料3] 漢字の成り立ちと移り変わり | 104 | | 毛筆 | |
| [◆資料4] 古典から学ぼう（発展） | 106 | | 硬筆 毛筆 | 「蘭亭序」，「蓬萊切」 |
| [◆資料5] 常用漢字表 | 108 | | 硬筆 | 常用漢字 2,136 字（楷書・行書） |
| [◆資料6] 人名用漢字表 | 123 | | 硬筆 | 人名用漢字 862 字（楷書・行書） |
| [◆季節の言葉] | 折込 | | 毛筆 | 旧暦月名，二十四節気，短歌 |

* 「姿勢・筆記具の持ち方」の時数は1年にあてているが、各学年・教材で適宜扱うようにする。